



まど・みちお

(明治42年～平成26年 1909年～2014年)

現・山口県周南市生まれ。昭和9年、雑誌『コドモノクニ』に投稿した作品が選者の北原白秋により特選となって以来、数多くの童謡を発表。戦後約10年間、幼児雑誌の編集に携わるが、昭和34年、50歳でフリーとなり、詩や童謡の創作に専念する。58歳で初めての詩集『てんぷらぴりぴり』を出版(第6回野間児童文芸賞受賞)。以後、詩集多数。平成6年、日本人としては初の国際アンデルセン賞作家賞を受賞した。

「ぞうさん」「やぎさん ゆうびん」「ふしぎな ポケット」などだれもが口ずさんだことのあるこれらの童謡を生み出したのが詩人まど・みちおです。

平成26年2月28日、104歳でこの世を去ったまどは、生涯にわたって詩を書きつづけ、その作品数は2000を超えています。

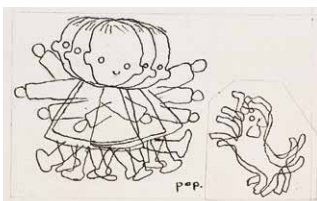
まど・みちおの作品の魅力は、草花や虫などのちいさなものにまでも向けられたあたたかなまなざし、すべてのものがそこにあることだけ、生かされていることだけですばらしいのだという存在のよろこびをうたっていることです。

この展覧会では、まど・みちおの詩人としての足跡をたどるとともに、50代はじめに集中的に描いた絵画作品を通して、その独特の宇宙観を紹介します。

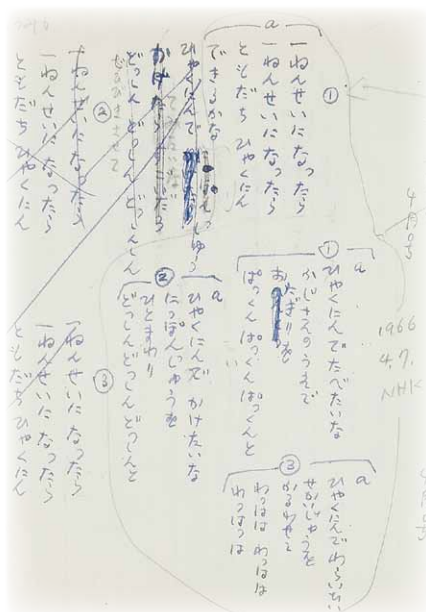
まど・みちおの生涯

写真や資料でまどさんの生涯をたどります。

編集者時代に描いたカット



「一ねんせいになったら」が記されたノート(部分)



まど・みちおの絵画

まどさんの抽象画の世界を周南市美術博物館が所蔵する作品をとおして紹介します。



ゆかりの人びと

まどさんと交流のあった方々からのメッセージを紹介します。

映像でふりかえるまど・みちお

まどさんの人生や詩と絵の世界を本展オリジナル映像で紹介します。

記念イベント

※会場は姫路文学館講堂(北館3階)
※講演会への参加は、本展観覧券(使用済み半券も可)が必要です。

定員は150人
当日先着順 参加無料

講演会 ●「まど・みちおの生涯」

まどさんと30年近い親交を持つ有田順一さんに、まどさんの魅力についてお話しいただきます。

日時:6月24日(土)13:30~15:00(開場:12:30)

講師:有田順一さん(周南市美術博物館 館長)

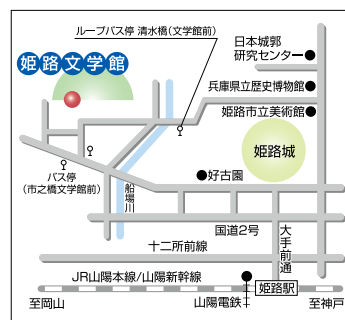
●まど・みちおの音楽会

「ぞうさん」「やぎさん ゆうびん」「一ねんせいになったら」ほか、まどさんの詩による歌をお楽しみください。

日時:8月13日(日)14:00~15:00(開場:13:30)

出演:松本温子さん(ソプラノ)

丸山聡美さん(ピアノ)



姫路文学館

HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE
〒670-0021 姫路市山野井町84番地
TEL.079-293-8228
http://www.himejibungakukan.jp/

- アクセス
- JR山陽電鉄姫路駅より神姫バス9・10・17・18番のりばで乗車6分、「市之橋文学館前」下車、北へ徒歩4分。
 - 城周辺観光ループバスで乗車10分、「清水橋(文学館前)」下車、西へ徒歩3分。
 - 山陽自動車道姫路東I.C.あるいは姫路西I.C.下車約20分。
 - 姫路ハイバス中地ランプ下車約15分。



写真撮影コーナー 「やぎさんゆうびん」「ふしぎなポケット」

やぎの郵便屋さんになったり、ビスケットがどんどん出てくる「ふしぎなポケット」のエプロンをつけたりして写真をとみましょう。

※「やぎさん変身ぼうし」は手芸家・もえぎはなさん、「ゆうびんやさんバッグ」と「ふしぎなポケット」(付きエプロン)は布物作家・イトウユウコさんの制作です。



「やぎさんゆうびん」ポスト

まどさんの詩の感想や思い出、まどさんに宛てた手紙などを書いて、会場のポストに入れてください。順次、館内で掲示します。

ほかにも楽しいイベントをご用意しています。当館ホームページをご覧ください。

ご案内

「杉浦さやか・井上ミノル展—イラストレーターと考える 暮らしのたのしみ」

7月15日(土)~9月10日(日)

姫路市立美術館 ☎079-222-2288

「夏休み子どもミュージアム—咲く咲く花もよう」

7月22日(土)~8月27日(日)

姫路市書写美術工芸館 ☎079-267-0301